

多
言
語
主
義
社
会
と
は

11 / 17 mon.

16:20-17:50
3号館5階C546



「やさしいことば」がもたらす

『節英のすすめー脱英語依存こそ国際化・グローバル化対応のカギ!』(萬書房、2016年)など、ユニークなアプローチからコミュニケーション作法について発信を続ける木村護郎クリストフ先生をお招きして、異なる言語を用いる人同士がどのようにコミュニケーションをとるか、その可能性や課題について考えます。

必ずしも英語に頼らなくとも、「やさしい日本語」を用いてコミュニケーションする方法など、排除ではなく包摂をもたらす多言語主義社会に向けての示唆に富むお話を伺います。聴講に専門的な知識はありません。どうぞお気軽にご参加ください。

講演:

木村護郎クリストフ先生
(上智大学外国語学部教授)

上智大学外国語学部ドイツ語学科教授、
同大学院国際関係論専攻教員。
専門は言語社会学、ドイツ社会研究。
近年の論考に、「コロナ危機における宗教の役割ードイツのキリスト教会の場合」(『上智ヨーロッパ研究』13号、2022年)、『脱原発の必然性とエネルギー転換の可能性ー地震国日本の現実とドイツの先例から考える』(竹本修三との共著、新教出版社、2022年)、『異言語間コミュニケーションの方法ー媒介言語をめぐる議論と実際』(大修館書店、2021年)他。

参加無料・申込不要

主催:山口県立大学大学院 連携化手法研究グループ

共催:山口県立大学 学術研究推進共同体

※本公開セミナーは、令和7年度山口県立大学研究創作活動助成を用いた「大学院と地域社会との連携化手法の探求」、ならびに学術研究推進共同体公開セミナー/FDの一環として実施します。

お問い合わせ: 山口県立大学大学院 事務室
TEL: 083-929-6525 (内線6577)
ypugsa@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp